

2021年

(株)中曾根造園

6月

梅雨の季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。



「傘の日」 6月11日

傘が最初に登場したのは約4000年前。古代エジプトやギリシャ、ペルシャなどの彫刻画や壁画に描かれています。この頃の傘は天蓋のように布が張られたもので、現在のように開閉できませんでした。開閉式の傘は、13世紀頃、イタリアで作られたといわれています。

6月の誕生花

6月19日 サクランボ 「上品」



西アジアの原産で、明治のはじめに日本に伝わりました。
山形、福島、長野、山梨を主産地に、佐藤錦やナポレオンなどの品種が栽培されています。

標準和名はセイヨウミザクラですが、一般には果実を指すサクランボの名で呼ばれます。



6月15日 ハマナス 「悲しくそして美しく」

花は香りが強く、香水の原料として使われ、果実もビタミンCが豊富。根は染料としても利用されます。



6月21日 ヤママモ 「一途」

病害虫は比較的少なく、手間の掛からない樹木。雌雄異株なので、果実を楽しむ為には雌木を植えます。



6月26日 ブルーベリー 「知性」

果実は生食のほかにも、幅広いの料理に使われている。収穫時期は6月～9月と、長い間楽しめるのも魅力。



鉢植え植物の梅雨対策って？



緑の豆知識

・雨の当たらない場所に移動させる

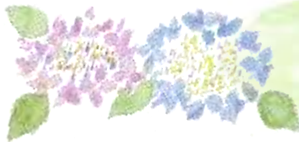
全部屋根の下に入りきらない場合は、乾燥が好きな植物と花びらが薄い植物を優先で。(花びらが薄い植物は傷みやすい為)

また、台の上に置くのも◎ 蒸れを防ぎ通気性がよくなり害虫被害を減らしてくれます。

・鉢皿は置かない

水が溜まり、植物を窒息させます。また根腐れの原因にも。





どれがどのお花??

そっくりなお花クイズ

みどりのクイズ

※答えは下段にあります



①



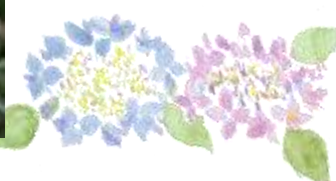
②



③



④



選択欄

- ・ラベンダー
- ・ムスカリ
- ・ローズマリー
- ・ブルーサルビア

緑のお知らせ



病害虫が出る季節になりました

新芽が吹くと同時に色々な病害虫が樹木を狙い始めます。

病害虫を発見したら、速やかに取り除くか、薬剤の散布をおすすめします。

薬剤散布を希望される方は、虫を確認したら早めのご連絡をお願いします。
この時期の薬剤散布は混み合うことがありますが、順に対応させていただきます。



↑グンバイムシによる
被害葉かすり状になる

グンバイムシ

幼虫も成虫も葉裏に寄生し、葉表から見ると葉緑素が抜けて白くかすり状になります。また葉裏には黒い排泄物で斑点状の汚れが付きます。駆除には薬剤散布が効果的で、葉裏にもかかるよう丁寧に散布しましょう。



↑若い芽に群がるアブラムシ

アブラムシ

暑さに弱く、春と秋に目立ちます。新芽、新梢、新葉、茎、花弁、葉裏など、あらゆる部位に群がって吸汁し、アブラムシが出す甘い排泄物はアリを誘発します。駆除には薬剤散布が効果的です。



↑イラガの幼虫の食害

イラガ

幼虫は毒毛を有し、触れると激しい痛みを感じます。繭の状態のイラガは殆ど毒性が残っていないので枝や木の幹に付着しているのを見つけたら、鉋で潰すなどして除去しましょう。

イラガの繭